

熱の記録表

おなまえ: 様 才

熱性痙攣: あり(回) なし

ダイアップ痙攣止め: ある なし

突発性発疹: すみ まだ

インフルエンザワクチン: 1回・2回・未接種

インフルエンザ: すみ(A・B) まだ

家族や周りで具合悪い人がいる方

⇒具体的に

解熱剤: ある・ない お薬の希望: 粉 ・ 坐薬 ・ 錠剤

安藤こどもクリニック

発熱日:		月	日(曜日)	時頃
		朝	昼	夜
0	発熱日	℃	℃	℃
他の症状				
1	月 日	℃	℃	℃
他の症状				
2	月 日	℃	℃	℃
他の症状				
3	月 日	℃	℃	℃
他の症状				
4	月 日	℃	℃	℃
他の症状				
5	月 日	℃	℃	℃
他の症状				
6	月 日	℃	℃	℃
他の症状				
7	月 日	℃	℃	℃
他の症状				
8	月 日	℃	℃	℃
他の症状				

⇒続きは2枚目の熱の記録表に記入してください

☆解熱剤について☆

熱の高さに関係ありません。解熱剤を使ったとしてもだいたい1～2℃下げる程度です。熱が高くても元気があれば使わず、そのまま様子をみましょう。

逆に熱がなくても頭痛・耳の痛み・機嫌の悪い時は使ってあげてください。解熱剤は、病気を治すお薬ではありません。頻回に使用すると熱の変動で

熱性痙攣・ひきつけを起こしやすくなる場合もあります。使用するとしても必ず6時間はあけてください。

☆インフルエンザ治癒証明について☆

発症日(発熱日)から必ず記入をしてください。

治癒証明を貰いに來るときは、必ずこの熱の記録を記入して持って来てください。

条件: 必ず発症日から6日間休み＋解熱後(平熱になって)小学生以上3日以降・幼児(未就学児)4日以降

※発症日は0としてカウントして下さい。※37.5℃を含むそれ以上の熱はリバウンドの熱になります。

また解熱後からの条件が満たされるまで熱の記録を記入してください。

平熱になっても条件の日までは、1日3回必ず検温してください。条件前の治癒証明はお出しできません！